

インド ～B R I C s の巨象 最近の新聞記事から～

山形県立山形中央高等学校 鈴木孝志

◎基礎データ

①地形

南北 3,119 km, 東西 2,977 km. ヒマラヤ山岳地帯・ヒンドスタン平原・インド半島の3大地域に大別. ヒマラヤ山岳地帯は平行する3つの山系からなり, その外壁を形成する大ヒマラヤ・カラコルム両山脈の平均高度は 6,600m. ヒンドスタン平原はインダス・ガンジスの2大水系がつくった大沖積平野. インド半島はヴィンディア山脈以南, 東西ガーツ山脈に囲まれた大高原を形成. パキスタンとの間にジャンム＝カシミール地方の領有権問題がある. ベンガル湾南部にアンダマン諸島とニコバル諸島を領有.

②気候

沿岸部やデカン高原は熱帯 (Am・Aw). ガンジス川中・上流は温帯 (Cw), パキスタンとの国境地帯は乾燥気候 (BW・BS), 山岳地帯は高山気候 (H) と変化に富んだ機構を構成する. モンスーンの影響が強く, 冬季 (11～3月) は北東風が, また夏季 (5～9月) には南西風が卓越する. この南西モンスーンの影響でインド洋に面した西海岸やヒマラヤ山麓には多量の降雨がある. 降雨期は6月下旬から10月下旬.

③面積 約 328.7 万 km² (世界第7位) (中国・パキスタンとの係争地を含む)

④人口 約 11億8618万人 (08年) (世界第2位)

※ 2022年頃に中国を抜き, 世界第1位になると推計

⑤首都 デリー

⑥民族 インド＝アリア系 72%, ドラビダ系 25%

⑦言語 連邦公用語…ヒンディー語, 準公用語…英語, 22言語が憲法で公認

⑧宗教 ヒンドゥー教 80%, イスラム教 13%

⑨経済

1) 国民総所得 (GNI) 約 8875 億ドル (06年)

2) 経済成長率 (GDP成長率) 約 4.3% (09年)

3) 主要貿易品目

輸出: 工業品、石油製品、化学関連製品、繊維・繊維製品、宝石

輸入: 原油・石油製品、電子機器、輸送機器、金、機械、肥料

4) 主要貿易相手国

輸出: 米国、UAE、中国、シンガポール、英国、香港

輸入: 中国、サウジアラビア、UAE、米国、イラン、スイス

5) 通貨 インド＝ルピー ※ 1円＝約 0.5ルピー (09年11月現在)

◎日本（山形）との関係

輸出相手国：日本は第 12 位 輸入相手国：日本は第 14 位

○最近，東京の秋葉原にインド人が多く出沒する．

世界に誇るオタクの聖地“秋葉原”に『インド人』が急増．優秀なインド人が日本の I T 企業に勤めている．カレー屋が増えていたり，ヒンディー語を話せるスタッフを配する電気店がでてきたりなど，秋葉原の町も変化している．

（2009年9月8日『ズームイン！！SUPER』より）

○インド式教育を学ぶ日本の子どもが増えている

I T を中心に急速な経済成長を遂げているインド．その原動力が数学に強い人材をつくる教育である．それにあやかろうと日本でもインド式の教育を行う学校や塾が増えている．頭が柔軟になり，算数のみならず，他の教科も成績がアップしたとか…

（2010年2月9日 読売新聞より →資料1）

○日本とインドが協力してインド版「太平洋ベルト」をつくらうとしている

日本，インド両政府が共同で「産業大動脈構想」を進めている．首都ニューデリーと商業都市ムンバイとの間で，鉄道や港湾，工業団地などのインフラを整備して，経済発展を図ろうとするもの．日本にとってもビジネスチャンスとして期待されている．

（2009年8月28日 朝日新聞より →資料2）

○インドの女性が「ヤクルトレディ」として働いている

2008年よりインドへ進出．日本と同じ訪問販売を行っているが，ヤクルトレディはスーツ姿．これは女性が外で働くことが一般的ではなく，ステータスのある職業としてのヤクルトレディをアピールするためである．

（2010年2月3日『ズームイン！！SUPER』より）

◎インドに関する最近の新聞記事より

今回、「授業で使える教材づくり」ということで、前任校である南陽高校がNIE（教育に新聞を）推進校であったこともあり、新聞記事を使ってインドの地誌を扱ってみることにした。

○ヒンドゥー教徒の改宗（2009年10月16日 朝日新聞より）

インドで多数派を占めるヒンドゥー教徒の中で、仏教やキリスト教など他の宗教へ改宗する人が増えてきている。改宗する人のほとんどがカースト制度の最底辺に属している「不可触民」の人たちで、カースト制度が色濃く残っているインドの現状を示している新聞記事であるといえる。また、改宗を手助けしている人の一人が日本人であることも興味深い。

○復調インド 農村が主役（2009年6月16日 朝日新聞より）

インドの農村で、携帯電話や二輪車が飛ぶように売れ、景気の下支えをしている。農民が豊かになった背景として、政府の支援策がある。全人口の約7割が農村に住んでおり、貧困が解消され豊かになっていけば、国の経済発展が大いに見込まれることを生徒に理解させる新聞記事であるといえる。

○インドのドコモ躍進（2009年12月27日 朝日新聞より）

日本のNTTドコモが“IT大国”インドに出資している携帯電話会社が好調である。その売りは安さとデザイン。加入数は4カ月連続でトップに立っている。“IT大国”インドで日本企業に関連していることを生徒に理解させる新聞記事であるといえる。

◎ワークシートについて

①インドについての面積・人口等のデータ概観させる。

②ヒンドゥー教について、カースト制度との関連を教科書などでまとめさせる。その後、資料1の新聞記事をよんで要約させる。ヒンドゥー教徒が他の宗教への改宗するケースが増えているというもので、その背景について生徒に考察させる。

③インドの農業について、地形や気候といった自然環境との関連を教科書などでまとめさせる。その後、資料2の新聞記事を読んで要約させる。そして、農業中心の地方経済の活性化がインドの経済発展のカギを握っていることについて考察させる。

④インドの工業について、IT産業を中心に、教科書などでまとめさせる。その後、資料3の新聞記事を読んで要約させる。生徒に身近な携帯電話を取り上げ、インドの経済成長を日本が支えていることについて考察させる。

⑤最後にまとめを生徒にさせる。

※1時間でできる内容を精選したつもりだが、実践したことがないので、やってみないとわからない。

【参考文献】

『2009データブックオブ・ザ・ワールド』二宮書店

外務省ホームページ

B R I C s 辞典 HP : <http://www.brics-jp.com/>

重松伸司・三田昌彦（2003）：『インドを知るための50章』明石書店

関口真理（2006）：『インドのことがマンガで3時間でわかる本』アスカ

小林英夫（2008）：『B R I C s の底力』ちくま新書

高度な暗算、コンピューター、英語……。国内の外国人学校で「インド式教育」を学ぶ日本の子供が増えているという。どんな魅力があるのか。



「12×12」。日本人の児童が図形の面積をすらすら解いて示すと、クラスメイトから拍手が起きた。1月28日、グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール（東京・江戸川区）の小学6年生の教室。幼稚園から高校段階まで教える同校は、幼稚園で足し算引き算、小学生で2けた同士のかけ算の暗算やコンピュータプログラムミング、ヨガなどを学ぶ。授業はすべて英語だ。小学3年で3けた同士のかけ算を解

インド式教育 じわり人気



く児童もいるという。

2006年7月に在日インド人向けに開校したが、日本人がじわり増え、今では全校児童・生徒224人の2割以上を占める。川崎市から通う女児12人は、「最初は数学の難しさや宿題の多さにびっくりしたが、色々な国の友達ができて楽しい」と明るく話した。母親(46)は、「子供には英語を早めに習得してほしいと思った。インドの学校は学費が安いのも魅力」と打ち明けた。

こうした教育に成長の秘密がありそうだ。ラジエシュワリ・サンバトウラージャン校長(50)は、「授業では発表時間を積極的に設け、自分の意見を言える子を育てている。道徳教育にも力を入れている」と強調する。インド式の学校は東京都内に少なくとも3校。このうち、三鷹市などで幼稚園や小学校を運営する「リトルエンジェルズ学園」でも03年の開校以来、日本人が増え続け、現在は児童の8割を占める。

ただ、都私学行政課によると、3校はすべて学校教育法上の学校にあたらぬ「無認可校」。このため、卒業しただけでは日本の大学などに進学できない。また、小中学校は義務教育のため、インド式の学校に通っていることを理由に日本の公教育を受けないと、「就学義務違反になる恐れがある」と文部科学省という。インド式学校で高校段階まで過ごした日本人の多くは海外の大学を目指すのだという。

以来、児童の国語や英語の成績も算数同様にアップした。同塾の中本豊明本部長は、「インド式では色々な計算法を学ぶため、頭が柔軟になるのでは」と話す。

インド式教育に詳しい芳沢光雄・桜美林大教授(数学・数学教育)は、「論理的思考力が問われる記述式の大学入試があるなど、インドではレベルの高い教育が行われている。インドの学校に通わせる保護者の多くが日本の公教育に物足りなさを感じていて、学力低下への不安が結果的にインド人気につながっているのでは」と分析している。(滝沢孝祐、福田麻衣)

2010.2.9
読売

産業大動脈構想 インドで本格化

インフラ開発 日本と共同

日本、インド両政府が共同で事業化を進めているインドの「産業大動脈構想」に関連し、港湾や工業団地建設などの大型インフラ開発が動き出した。民間資金を活用するための基金が近く立ち上がり、事業選定を始める。周辺事業は約300件にのぼるとみられ、日本企業にとってビジネスチャンスとなる。

日本の国際協力銀行(JBIC)とインドの政府系金融機関などは今秋中にも基本契約書を交わし、計150億円を出して開発基金をつくる。昨年1月に設立された同構想の開発会社内に基金を設け、年内にも周辺事業の案件の絞り込み作業に入る。

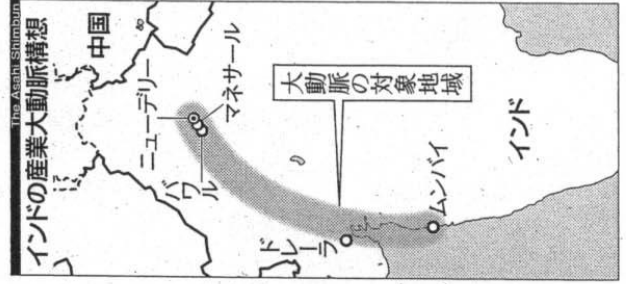
有力な案件には、基金が2億〜3億円を出して特別目的会社を設立する。地元が州政府に働きかけ、港湾の開発許可権や土地の使用権なども1〜2年かけて取得する。その後、会社は競売で民間事業者に売却され、実際の開発は落札した事業者が自己資金や銀行融資などで進める予定だ。

具体的な事業として、鉄道

インドの産業大動脈構想
首都ニューデリーと商業都市ムンバイを結ぶ6州の間でインフラ整備を進め、産業集積をはかる計画。日本の戦後の高度成長を担った太平洋ベルト地帯

整備や工業団地開発が争がっている。鉄道整備は、自動車会社のスズキや日系部品メーカーが進出しているマネサールやバワルと、首都ニューデリーを結ぶ約100キロ区間で、事業規模は数百億円とされる。ムンバイ北側のドレーラでは、港湾を整備し、火力発電所や石油化学工場を設けて巨大工業団地をつくる案件があり、宅地開発も含め数十億円規模の事業になると見込まれている。

インドでは、インフラ整備の必要性が言われて久しいが、政府予算は貧困対策などに優先されてきた。そのため巨大財閥を中心とした民間企業が開発を担ってきた。今回は基金を活用することで、産業大動脈の全体像を考えた開発計画をつくることができ、インド政府が10兆円と見積も



のインド版にあたる。日本政府は昨年10月、両都市間約1468キロを結ぶ貨物専用鉄道の主要部分(約918キロ)の整備に、約4500億円の円借款を供与することでインド政府と合意している。

る開発費の多くを民間資金でまかなえるメリットがある。

新興国のインフラ整備は今後も伸びが見込まれ、日本企業の収益分野と期待されている。経済産業省は10年度の重点施策として、日本企業がインフラ関連事業の設計から保守・管理まで一括受注できる

(高野真吾)

インド輸出額 5年で2倍に

商工相が方針発表

【ニューデリー】高野 真吾
インドのシャルマ商工相は27日、今後5年間の通商方針を発表した。14年までに輸出額を現在の2倍に伸ばすことや、欧米市場に偏重していた輸出先をアジア・オセアニア地域などに多様化することな

どが柱。

発表されたのは、この5月に発足した新政権の通商基本方針。シャルマ氏は「世界経済がV字やU字で回復するという見方には懐疑的だ」と述べ、不調な欧米市場への輸出を補うためにも、アジア・オセアニアのほか中米、アフリカなどの市場を開拓する必要があると強調。輸出促進のために、税制上の優遇策をとることも明らかにした。08年度のインドの輸出額は1680億ドル(約15兆8千億円)。

シャルマ氏は、この8月に相次いで締結した東南アジア諸国連合(ASEAN)、韓国との自由貿易、経済連携協定について「インドのルックイースト政策に沿ったもので、躍動する市場へのアクセスを高めるものだ」と強調。9月上旬にインドで非公式閣僚会合を開催する世界貿易機関(WTO)については「インドはドーハラウンドの成功に貢献するが、(同ラウンドは)途上国の人々の希望にかなえるものでなければならぬ」と語った。